

ブラジル日本商工会議所 業種別フォーラム 「自動車部会」レポート

2022年8月30日

< 2022年度上期の振り返り並びに今後の展望 >

➤ 四輪業界動向

1. 2022年上期の振り返りと今後の展望
2. 長期展望 重要テーマ・日系ブランドの対応
3. 総括

➤ 二輪業界動向

四輪業界動向

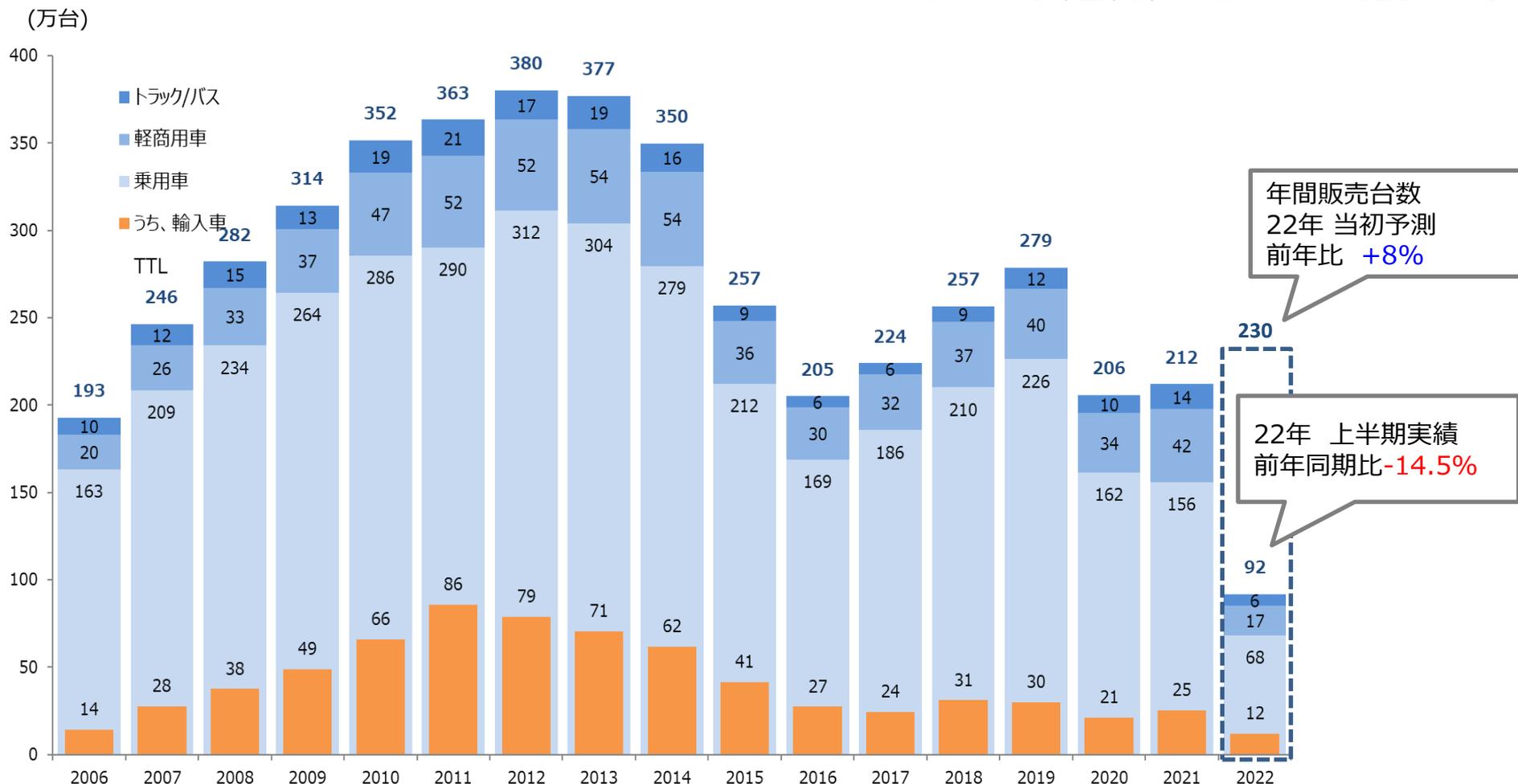
1. 2022年上期の振り返りと今後の展望
2. 長期展望 重要テーマ・日系ブランドの対応
3. 総括

四輪業界動向

1. 2022年上期の振り返りと今後の展望
2. 長期展望 重要テーマ・日系ブランドの対応
3. 総括

1. 2022年上期 振り返り－販売台数 推移

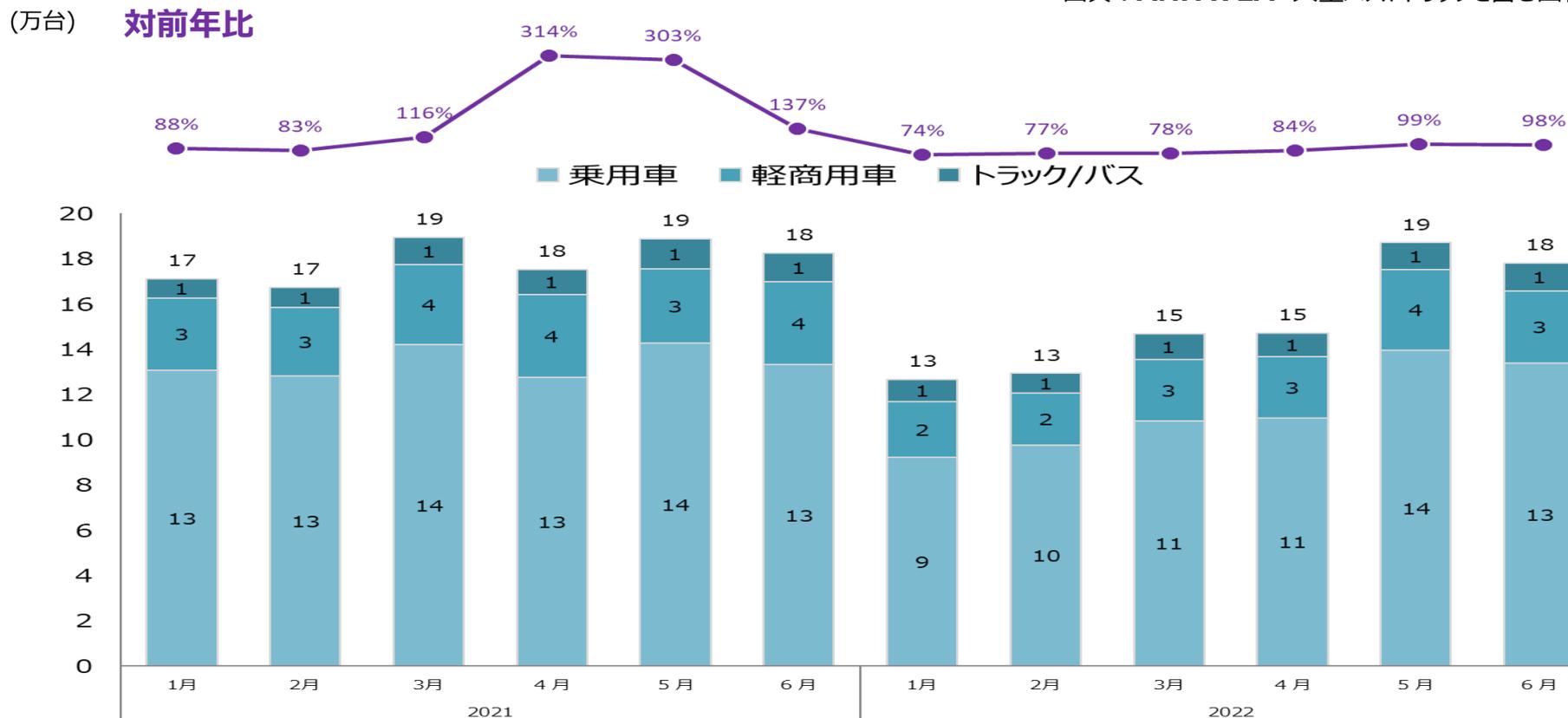
出所：ANFAVEA（ブラジル自動車工業会） 大型バス、トラックを含む四輪合計



- 半導体の影響継続し、上半期実績は92万台にとどまる。
- 半導体回復の目処たたず、年初見通しの達成は厳しい状況。

1. 2022年上期 振り返り – 月別販売台数 推移

出典：ANFAVEA 大型バス、トラックを含む四輪合計



2021年上半期

107万台

前年比+32%

ダイレクトセールス比率 **43%**

2022年上半期

92万台

前年比-14.5%

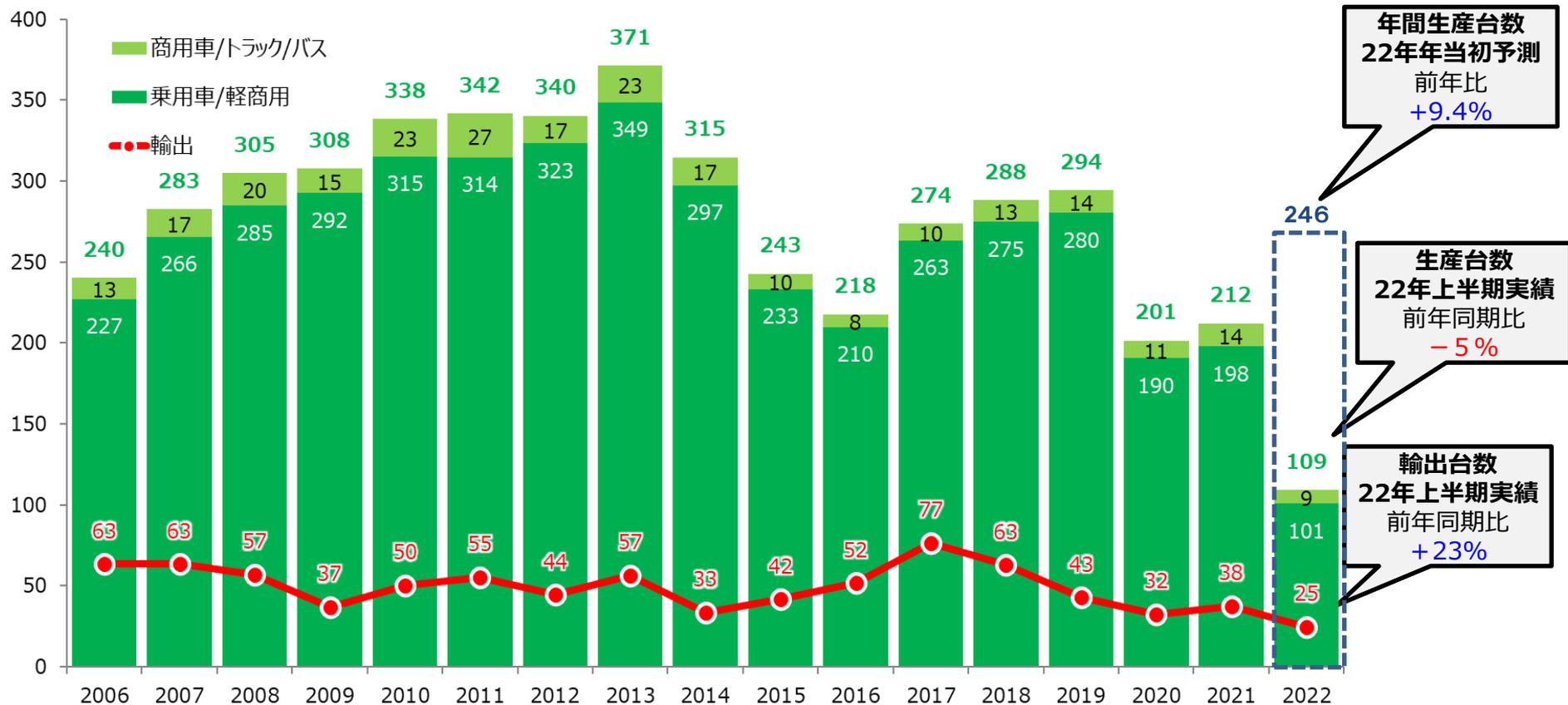
ダイレクトセールス比率 **44%**

➤ 上半期販売は各月とも前年を下回る

1. 2022年 上期振り返り — 生産・輸出台数 推移

出所：ANFAVEA 生産実績にCKD含まず

(万台)



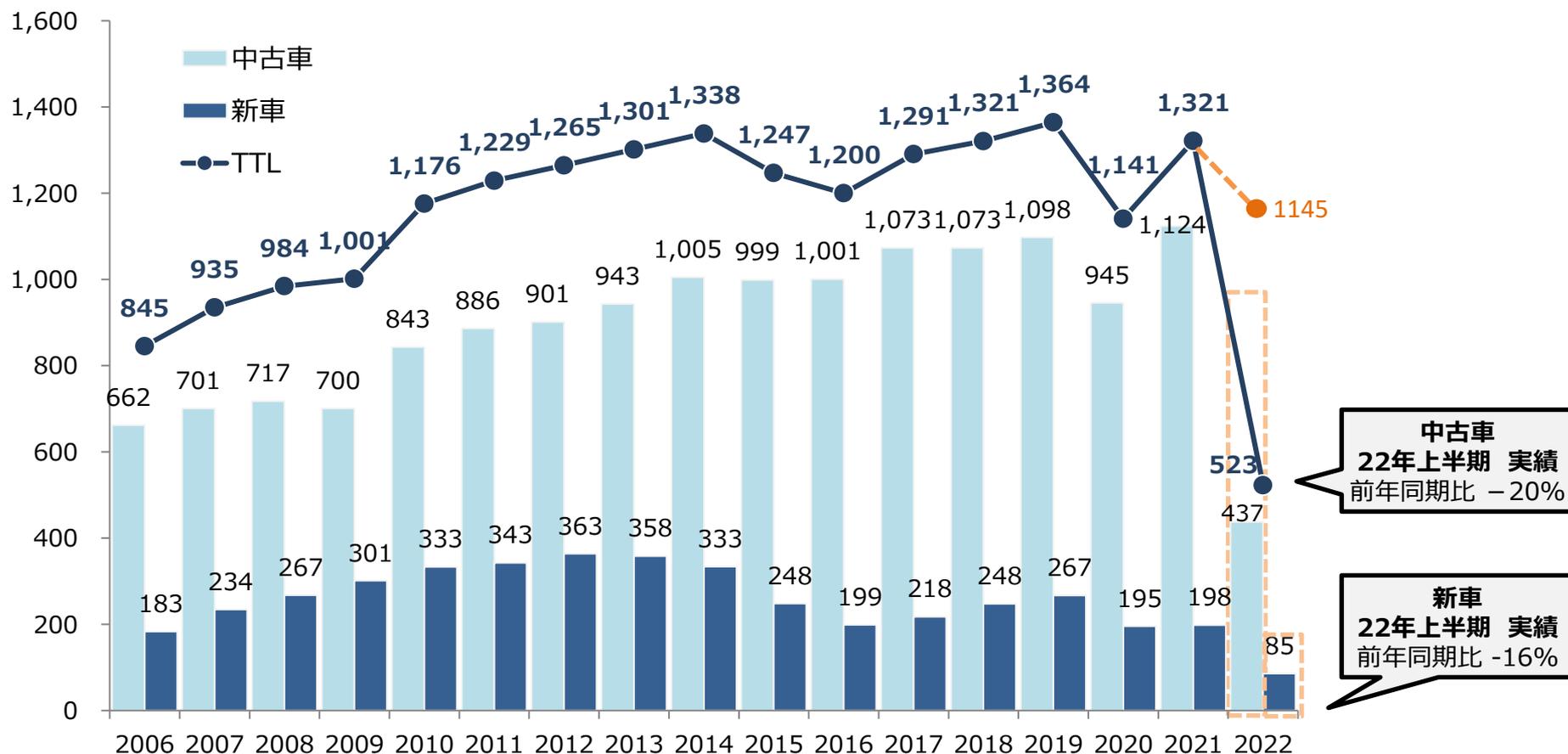
- 部品不足で生産は横ばい。
- チリ、コロンビアへの輸出増。

1. 2022年 上期振り返り－自動車業界(中古・新車)

(万台)

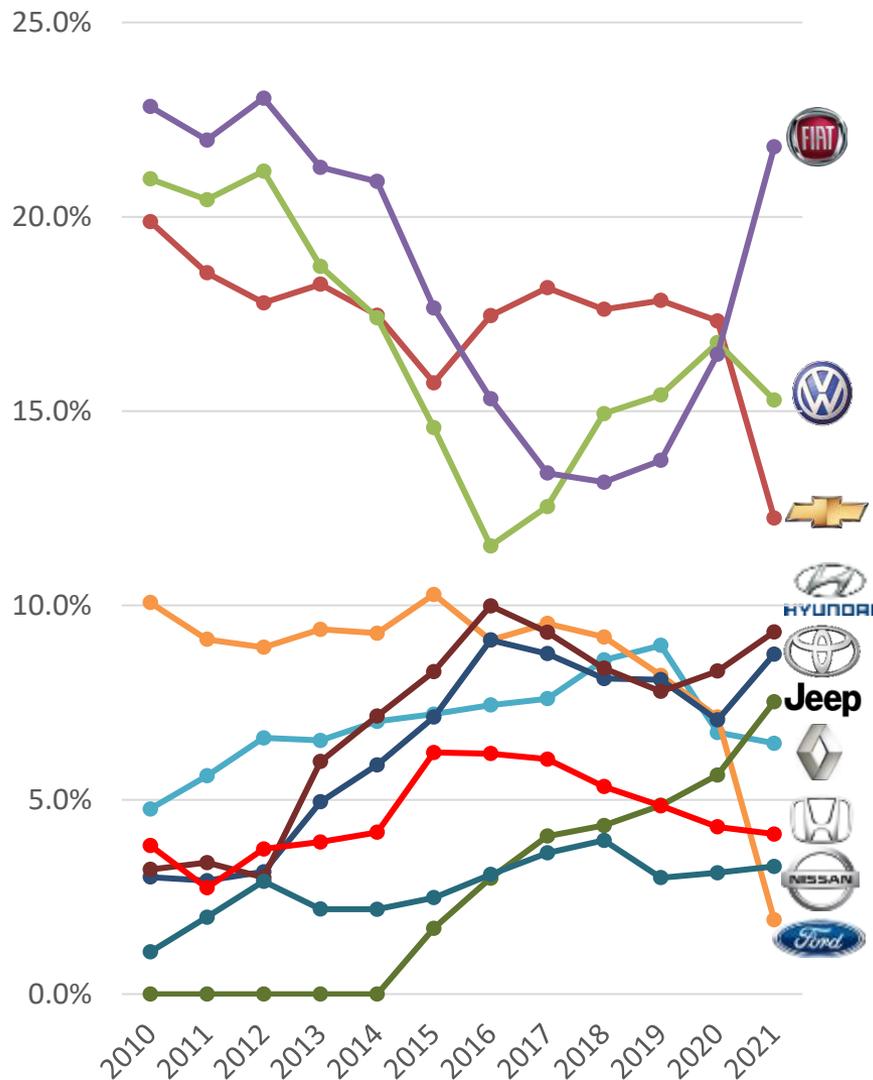
出典：FENABRAVE/ ANFAVEA

※乗用車/軽商用車のみ



➤ 昨年まで続いた中古車の勢いに変化あり。中古車価格も変化を見せており、新車と共に動向要注視

1. 2022年 上期振り返り - ブランド別シェア



単位：万台、トラック・バス除

'21	台数	シェア
1	43.1	21.8%
2	30.2	15.3%
3	24.2	12.2%
4	18.4	9.3%
5	17.3	8.7%
6 Jeep	14.9	7.5%
7	12.8	6.5%
8	8.1	4.1%
9	6.5	3.3%
10	3.8	1.9%

'22 (上期)	台数	シェア
1	18.2	22%
2	11.6	13.6%
3	9.6	11.3%
4	9.1	10.6%
5	9.0	8.7%
6 Jeep	6.6	7.7%
7	5.3	6.3%
8	2.6	3.1%
9	2.5	3.0%
10	2.2	2.6%

- 業界全体が在庫不足の中、影響が軽微だったFiatが引き続きトップ。
- 在庫不足のVWは3位へ。Fordはブラジルでの生産撤退により、シェア急落し14位へ。

1. 2022年下期 展望 – 自動車業界

出典：ANFAVEA 生産実績にCKD含まず

◆ ブラジル市場・輸出・生産の2022年予測

単位：万台

	2021年 最終結果	2022年 当初予測	2022年 中間修正予測
		ANFAVEA (1月発表)	ANFAVEA (7月発表)
国内市場	トラック・バス 含む総合計	212 前年比：+3%	230 前年比：+8%
	トラック・バス 除く合計	198 前年比：+1%	214 前年比：+8%
輸出台数	38 前年比：+16%	39 前年比：+3.6%	46 前年比：+22.2%
生産台数	224 前年比：+5%	246 前年比：+9.4%	234 前年比：+4.1%

- ANFAVEAも見通しを下方修正。
- 市場・生産共に昨年レベルと想定。
- 懸念：選挙の影響と世界的なインフレ継続の懸念等、堅実な事業計画が求められる。

四輪業界動向

1. 2021年 振り返り・2022年展望

2. 長期展望 重要テーマ・日系ブランドの対応

3. 総括

2. 自動車業界としての課題

➤ 短期

- 半導体の回復タイミング、資材の高騰
- 経済・政治動向の不透明さ（インフレの継続・為替の悪化・総選挙）

自動車部会 アンケート結果

1) 上期の業績結果は想定通り(4社)

- 半導体不足想定内・予定通りの生産推移
- 原価低減効果、車種構成差、為替高、台数効果
- 交換用タイヤは堅調に推移

2) 上期の業績結果は想定よりも悪い(6社)

- 固定費・原材料高騰
- 半導体不足による生産減、売上減
- レアル安による国外からの購入品高騰・輸送費高騰
- 物流混乱による航空便緊急手配などのフレート高
- アルゼンチン輸入規制

3) 下期の見通しは想定通り(3社)

- 劇的な販売増の見込みなし
- 現在の生産・為替維持できる前提

4) 下期の見通しは悪い(7社)

- 上記問題継続
- 人件費高騰

2. 自動車業界としての課題

➤ 中・長期

税制： 税制改革の不透明感・財政支出の拡大・税負担の拡大等。
財政難によるEx-tariff（部品）、LETEC（自動車）の恩典削減

環境・規制： 燃費規制（自動車政策Rota2030） 排気規制：L8厳格化。

電動化： 自動車分野のロードマップ不在、欧州メーク・中国メークの戦略
EU・メルコFTAを利用した欧州メークの電気自動車輸入増加（特に2030年以降）

自動車部会 アンケート結果

気になる案件は？

- 1) EV導入政策・カーボンニュートラル政策。
バイオ燃料(エタノール)中心の脱酸素化のトレンドは政府として変わらないか。内燃機関の継続は。本社の方針(グローバルでの活動)とずれてないか。
- 2) 中華系自動車メーカーの動きをどう見ているか。
- 3) 環境政策が与えるL8(排ガス規制)・CAFE(Rota 2030)へのインパクト。
- 4) ウクライナ侵攻の2次的、3次的な影響があるか。
- 5) 日系OEMの台数増が望めない中での、生き残り施策。各社の対応方法
- 6) 日伯EPAの動向。

四輪業界動向

1. 2021年 振り返り・2022年展望

2. 長期展望 重要テーマ・日系ブランドの対応

3. 総括

3. 総括 – 本日のまとめ

➤ 短期：

- 部品供給不足・原材料高騰・インフレ・レアル安等、当面厳しい状況継続

➤ 中・長期：

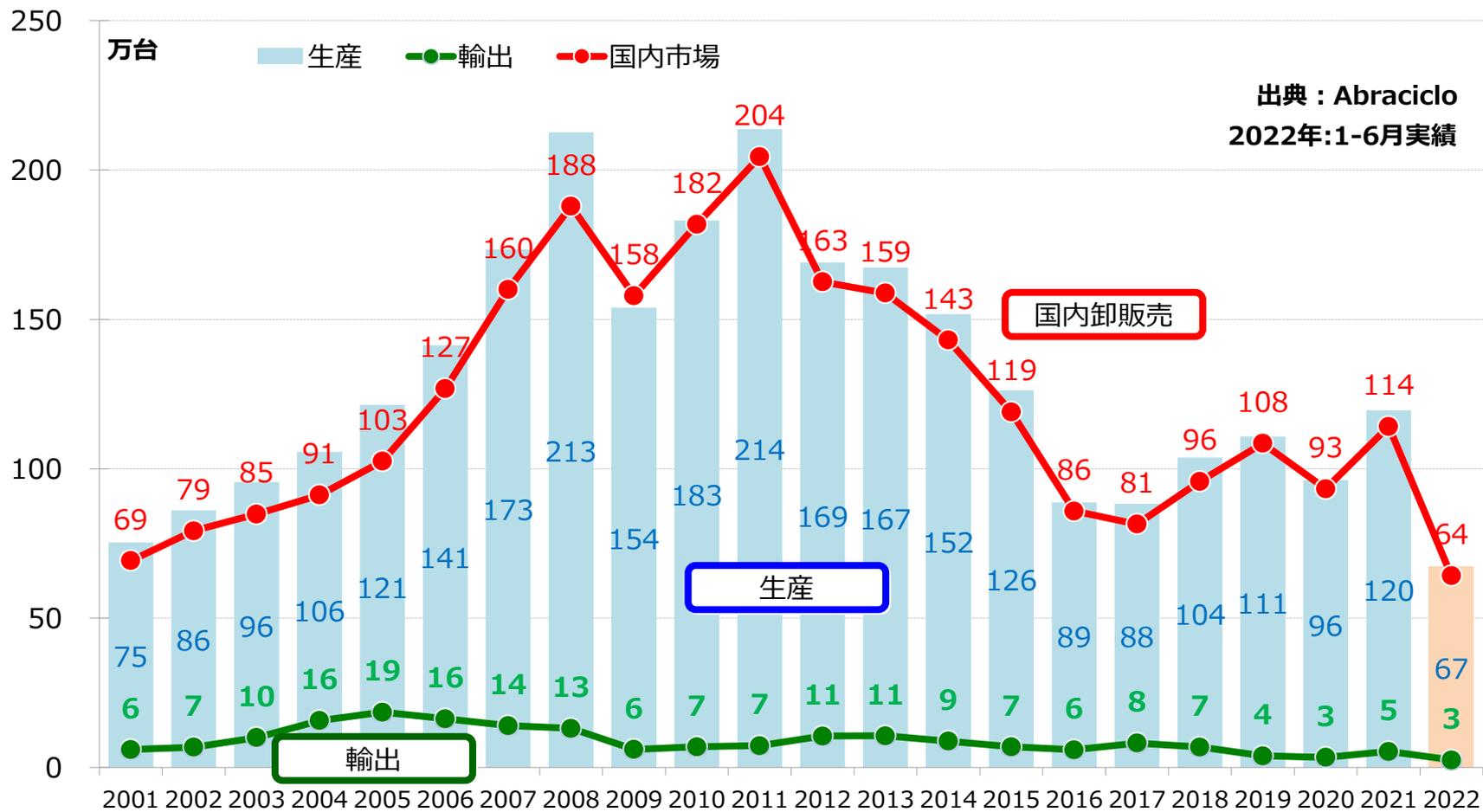
- 予見性のある環境・自動車政策への期待・備え
(税制・規制の一致)
- 日メルコFTAの推進

二輪業界動向

二輪車 生産・販売 推移

公開

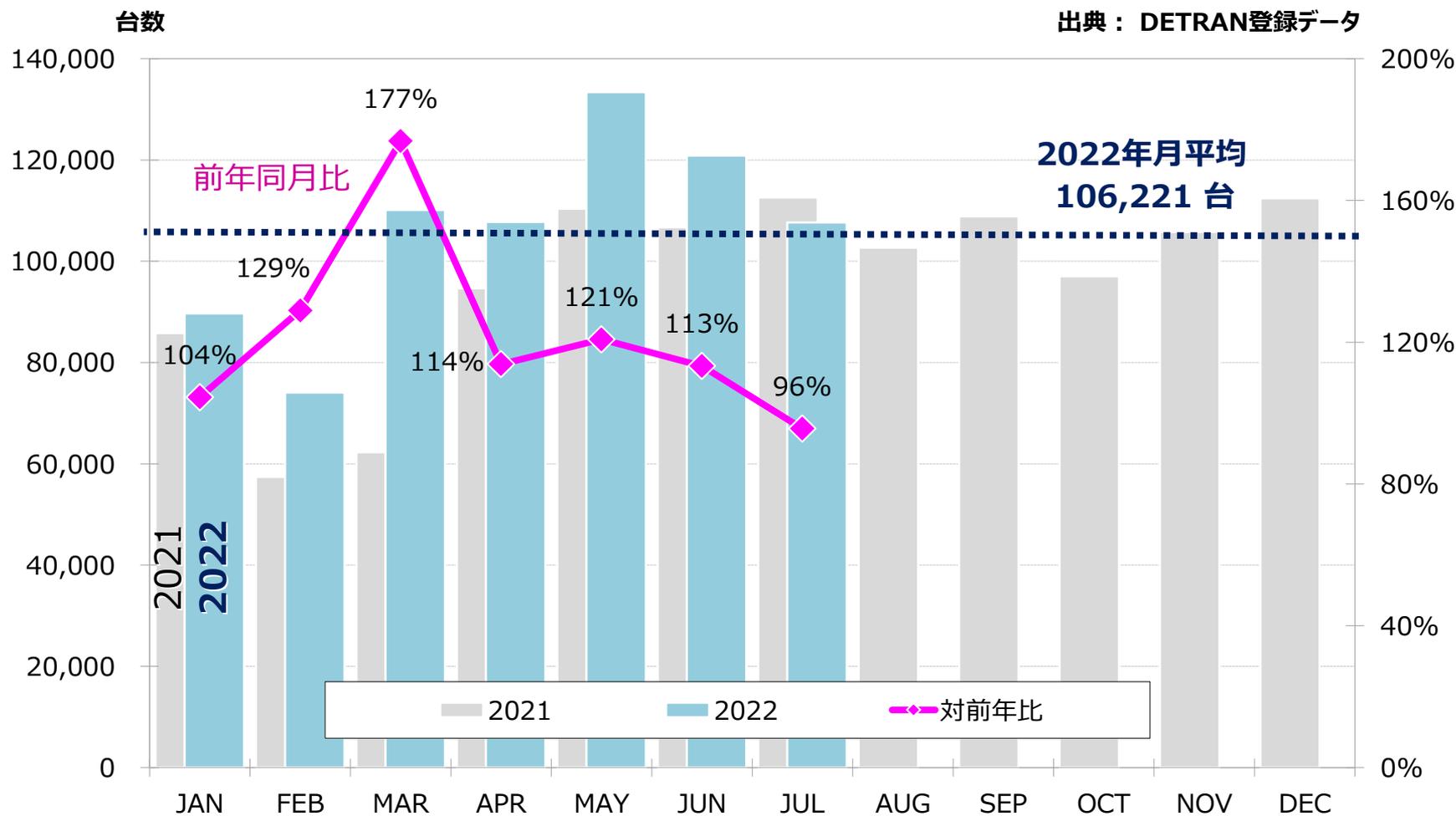
自動車部会



2022年上期 (1-6月) 実績

卸： 64万台 (前年比 120%)
 生産： 67万台 (同 118%)
 輸出： 3万台 (同 96%)

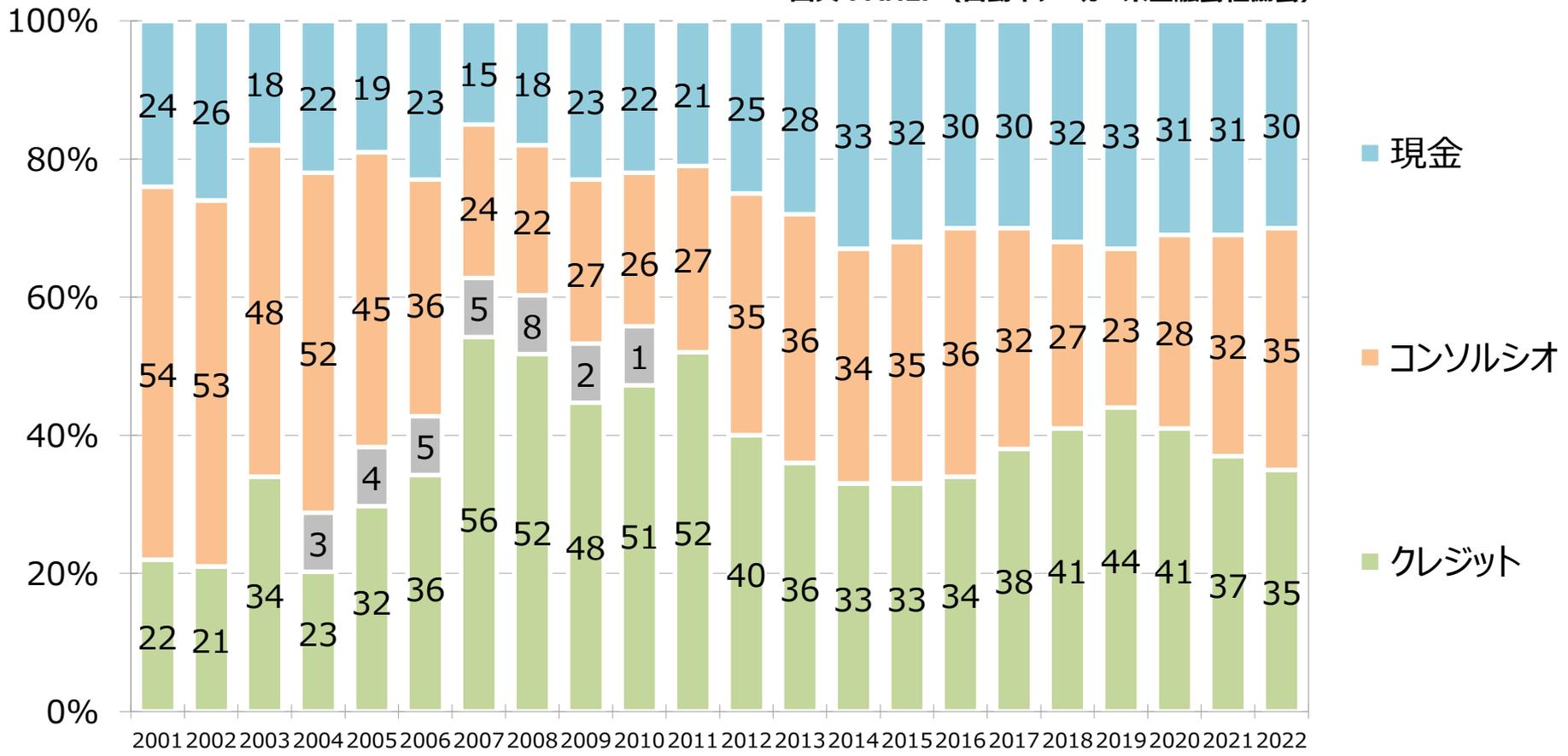
二輪車 月別登録推移 (2021年vs2022年)



部品不足によるシャットダウン影響を受けた7月を除き、今年に入り月販は大きく前年越え

二輪車 支払形態別 販売比率

出典：ANEF（自動車メーカー系金融会社協会）



コンソルシオは 平均収入減や金利高を背景に 新規申込み増

ご清聴ありがとうございました